

令和3年度東北農業試験研究推進会議畜産飼料作推進部会 夏期研究会 開催要領

東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会長
農研機構東北農業研究センター
緩傾斜畑作研究領域長 新良力也

1. 趣 旨

近年、特に新型コロナウイルス感染拡大による国際貿易環境が不透明となり、従来の輸入に過度に頼った日本型食料供給にも再考すべき要素が増え、消費動向にも変化が見られる。これは、生産者や産地が将来に夢や展望を持てる機会と捉えられ、我が国農畜産物の魅力（付加価値）を向上させて対応することが重要である。そこで、本研究会では「畜産物のおいしさ」に関する今後の研究方向について、各県の実績および意見を踏まえて検討する。

2. 開催日時 令和3年8月31日（火）13:00 ～ 15:30

3. 開催場所 オンライン開催

4. 検討内容

検討課題：「畜産物のブランド化に『おいしさ』を活用するための考え方」

- 1) 話題提供 農研機構畜産研究部門 食肉用家畜研究領域食肉品質グループ長
佐々木 啓介 氏
- 2) 各県場所畜産物の食味に関する試験研究紹介
- 3) 情報交換

5. 参集範囲

東北各県の公設試験研究機関・行政機関・普及指導機関、東北農政局、大学、農研機構等国立研究開発法人、「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム会員、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター緩傾斜畑作研究領域 新良力也
〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
TEL：019-643-3556 FAX：019-641-7794 E-Mail：rikiya@affrc.go.jp

7. その他

オンライン接続方法や参加申し込み方法などについては、事務局より別途連絡します。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下の対応をお願いします。

- ・リモートの拠点となる会議室等に複数人数が参集する場合、各機関の担当者は会場が三密の状況にならないよう留意するとともに、参加者には検温、手指消毒の励行および発言の有無に関わらずマスクの着用を指示ください。
- ・万一、会議参加者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に出席者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。